

## 公募型プロポーザル方式における選定結果について

### 1. 案件名称

大阪市福島区における新たな地域コミュニティ支援事業【長期継続契約】

契約期間 令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

### 2. 選定した委託予定事業者

一般財団法人 大阪市コミュニティ協会

### 3. 公募期間

令和5年12月22日（金）から令和6年1月19日（金）

### 4. 学識経験者等の意見を聴取する選定会議による審査の結果

#### (1) 選定委員名簿（敬称略）

委員氏名	役職等
生田 英輔	大阪公立大学研究推進機構 都市科学・防災研究センター教授
善積 康子	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング（株） 政策研究事業本部 主席研究員
服部 繁一	・大阪産業創造館 経営相談室 コンサルタント ・桃山大学ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科 准教授

#### (2) 選定会議の開催日 令和6年2月14日（水）

#### (3) 審査基準

選定基準	審査内容	配点
事業の企画内容	事業の目的及び業務内容の理解度、事業の計画性、実施内容の妥当性、業務手法の的確性、実現可能性、課題解決能力、手法の独創性	55点
事業の実施体制 （人員配置等）	確実に遂行できる組織体制・運営基盤	20点
類似業務の実績	類似業務に関する情報及び技術の蓄積	15点
所要経費、 積算見積金額	効率的で妥当な経費により提案されているか	10点
合 計		100点

## (4) 審査を行った事業者

1 事業者

## (5) 審査の結果及び選定理由等（選定委員の評価点の合計点）

審査項目	評価点
事業の企画内容	124
事業の実施体制（人員配置等）	48
類似業務の実績等	32
所要経費、積算見積金額の妥当性	24
合 計	228

## (付帯意見)

- ・地域防災力向上への支援に関しては、地域ごとの分析や色々な手法での提案があり評価できる。
- ・市民ニーズの解きほぐしや分析をまちづくりセンターとして共有した上で、支援プログラムをつくり、計画的に実行いただきたい。
- ・人と人との縁を記録に残し、継承していく仕組みを構築いただき、その仕組み作りの手法の一つとして ICT 活用も含めて検討いただきたい。